

福井市松蔭海岸での磯採集における海産動物相について

伊藤 十治

海岸動物を図鑑類で調べたいと思うと、日本海側での記録や解説は太平洋側に比べて非常に少ない。また、日本海沿岸の生物相は、単調・貧弱でつまらないとよく言われている。

本県沿岸での生物相、特に動物については、筆者の知る限り魚・貝類などについての記録はあるが、海産動物全般にわたってまとめたものは僅少である。昭和28年よりずっと今日まで、毎年夏季に酒井恒博士を講師にお迎えして、小中高校生を対象に、福井市立郷土自然科学博物館主催の海産動物採集会=海の学習会=が開かれている。(写真参照)



酒井博士のご指導を受けている参加者

筆者は、その間、同館の協力員として酒井恒博士のお手伝いをしながら今日にいたっているので、資料の一部を紹介し、本報告が最初にあげた点を少しでもおぎなうことができれば幸甚である。本報告の資料はすべて同館のもので種の同定は酒井恒博士によるものである。

採集地は、福井市松蔭海岸で、表層地質からみると流紋岩質凝灰岩と粗面岩質安山岩からなる。また地形分類からみると、磯と三角州・海岸平野とからなる。

採集日は、昭和29年7月27日～28日、昭和47年7月27日～28日、昭和48年7月25日～26日、昭和49年7月29日～30日の計4回である。

松蔭海岸で磯採集した種類数は、4回分を集計すると、12の動物門、139科にわたり226種となる。(次頁の表を参照)。226種の中には磯採集だけでなく、えび網・底引き網などによ

るものが含まれ、特に魚類などはその例である。

動物門	科数	種数	動物門	科数	種数
(魚類)	22	26	環形動物	16	20
原索動物	2	3	軟体動物	34	70
棘皮動物	14	18	紐形動物	1	2
触手動物	3	3	扁形動物	2	2
星口動物	2	2	腔腸動物	5	8
節足動物	33	66	海綿動物	5	6

採集された種類の中には、日本固有種と言われるものが含まれ、それを示すと次の**8種**になる。

アカウニ、バフンウニ、ムラサキウニ、ヤマトホンヤドカリ、ヤワラガニ、トガリオオギガニ、スゴカイ、ウズマキゴカイ。

南洋方面、暖かい海に広く分布している種類が、松蔭海岸でも採集されている。それをあげると次の**18種**になる。

ツバメウオ、ハリセンボン、シラヒゲウニ、タテホシムシ、アカシマモエビ、セミエビ、イバラカンザシ、ニシキヒザラガイ、アラレタマキビガイ、カニモリガイ、フトコロガイ、クロヘリアメフラシ、アマクサアメフラシ、キヌハダウミウシ、シロウミウシ、ハネガヤ、ミズクラゲ、ワタトリカイメン。

一方、寒海性の海産動物と言われる種類が、松蔭海岸でも採集されている。それをあげると次の**6種**になる。

ヒトデ、シオムシ、オオツクヘラムシ、ホンヤドカリ、オフェリアゴカイ、カモガイ。

松蔭海岸で採集された種類の中で、分布上注目すべき種として次の**21種**がある。

アオスジクモヒトデ、モミジガイモドキ、コシダカウニ、カクベンケイガニ、チンチロフサゴカイ、ノリクラケヤリ、カサガイ、ヒメクボガイ、ウラウズガイ、メダカラガイ、イボニシ、タモトガイ、アラレガイ、フデガイ、ヒゼンツクシ、ヒトエガイ、ツヅレウミウシ、ダイダイウミウシ、エガイ、ヒメアサリ、ジュウモンジクラゲ。

松蔭海岸で採集された**226種**の中で、今までに県内の沿岸ではこの海岸でしか採集されなかった種類がある。それをあげると次の**44種**になる。

(魚類)

ヌメリゴチ、フサギンボ、ミミズハゼ、ツバメウオ、アカグツ。

(棘皮動物)

ニホンウミシダ、シラヒゲウニ。

(触手動物)

ハナザラコケムシ

(星口動物)

タテホシムシ

(節足動物)

シオムシ、ヒメハマトビムシ、オオワレカラ、アカシマモエビ、シバエビ、スジエビ、セミエビ、カネコブシ、コノハガニ、カワリヒシガニ、シワガザミ、セスジシャコ、オオツクヘラムシ。

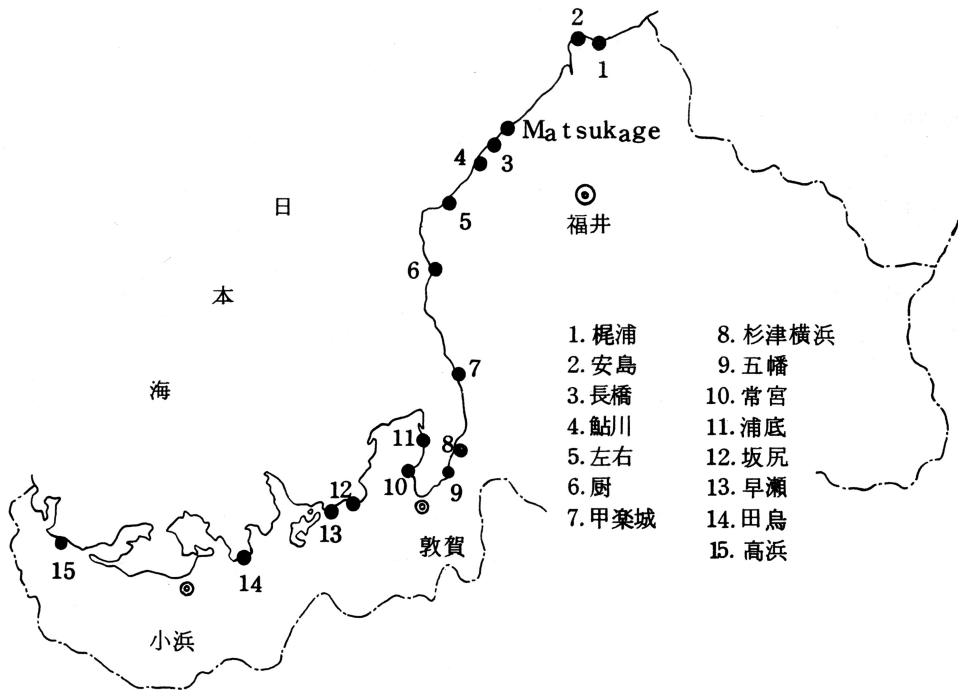
(環形動物)

オトヒメゴカイ, ノリクラケヤリ, イバラカンザシ, カニビル。

(軟体動物)

コケハダヒザラガイ, トコブシ, カモガイ, フトコロガイ, タモトガイ, アラレガイ, ヒメムシロガイ, ヒゼンツクシ, キヌハダウミウシ, ツヅレウミウシ, アカエラミノウミウシ, ヒメアサリ, ニオガイ, バティラ, キビガイ, カリガネエガイ, イシゴロモ, トマヤガイ。

松蔭海岸で採集された226種の中で, 次に示す187種が県内各地の沿岸で採集されている。各種類について, 県内の15ヶ所(下図に示した地点)で採集されたかどうかを吟味してみた。和名の後にある()内の数字は採集地点を示してある。



県内における採集地

魚類

ホンザメ(6, 15), アカエイ(6), キス(15), マアナゴ(6), ヨウジウオ(14), タツノオトシゴ(10, 13), マツカサウオ(15), メジナ(1, 2, 3, 5, 6, 7, 8, 11, 13), アゴハゼ(8, 12), ミシマオコゼ(2, 6, 12, 15), ナベカ(4, 5, 11, 12), イソハゼ(2, 4, 5, 12), クサフグ(2, 3, 5, 7, 11, 13), ハリセンボン(15), ハオコゼ(10, 11, 13), コチ(15), カマキリ(14), キヌカジカ(2, 4, 5, 8, 9, 13), シマウシノシタ(6, 15),

原索動物

キクイタボヤ(6, 7, 10, 11, 12, 14, 15), アカイタボヤ(3, 4, 7, 10, 12, 14, 15), カラスボヤ(2, 3, 4, 6, 10, 11, 15)

棘皮動物

トゲクモヒトデ(1, 3, 5, 8, 9, 12, 15), アオスジクモヒトデ(2, 6, 10, 15)
ニホンクモヒトデ(2, 3, 5, 6, 7, 8, 10, 12, 13), モミジガイモドキ(15), ヤ
ツデスナヒトデ(6, 13), アカヒトデ(2, 11, 15), ヌノメイトマキヒトデ(1, 2,
10, 11, 14, 15), イトマキヒトデ(2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11,
12, 13, 14, 15), ヤツデヒトデ(1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 14,
15), ヒトデ(1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 10, 11, 12), コシダカウニ(3, 15),
アカウニ(1, 2, 6, 7, 10, 12, 14), パフンウニ(1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8,
9, 10, 11, 12, 13, 14, 15), ムラサキウニ(2, 3, 6, 9, 10, 14, 15),
フジナマコ(10, 15), マナマコ(1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 9, 12, 13, 14, 15)。

触手動物

ウスコケムシ(2), コブコケムシ(2, 3, 6, 7, 9, 10, 11, 12, 13, 14)

星口動物

クロホシムシ(3, 4, 5)

節足動物

ウミグモ sp. (3, 12, 14, 15), メナガイソウミグモ(2, 10, 13), カメノテ
(1, 2, 3, 6, 7, 9, 12, 13), シロスジフジツボ(15), コノハエビ(2, 7, 13)
ウミナナフシ(1, 2, 3, 6, 15), ニホンソツブムシ(1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8,
12, 15), ワラジヘラムシ(2), ホソヘラムシ(2, 4, 6, 7, 13, 15), ウミミズ
ムシ(1, 3, 6, 9, 12, 13), フナムシ(2, 6), ヨコエビ sp. (1, 2, 3, 4, 5,
6, 7, 8, 12, 13, 14, 15), ワレカラ sp. (2, 3, 10, 13, 14, 15), イ
シエビ(10), テツポウエビ(11), フタミゾテツポウエビ(10, 13), スジエビモドキ
(12), イソスジエビ(12), ニホンスナモグリ(5), イソカニダマシ(2, 6, 12, 13,
15), ホンヤドカリ(2, 3, 5, 12), ヤマトホンヤドカリ(1, 3, 4, 6, 15), イ
ボトゲガニ(2, 9, 10), ミズヒキガニ(6, 11), サナダミズヒキガニ(6, 7, 10,
15), サメハダヘイケガニ(2, 6, 15), キメンガニ(2, 5), ツノナガコブシ(6, 15)
アミメキンセンガニ(3, 6, 11, 15), ヒメソバガラガニ(2, 6, 10), ツノダシヤワ
ラガニ(3, 12), ヨツバモドキ(8, 12), ヨツバモガニ(1, 2, 3, 5, 6, 9, 10,
12, 13, 15), イッカクガニ(2, 6, 13), アシナガツノガニ(10), ヒラツメガニ
(6, 15), フタホシインガニ(2, 3, 7, 10), ベニツケガニ(15), フタバベニツケ
ガニ(2, 6, 9, 12), トガリオオギガニ(2, 13, 15), オオギガニ(4), イボテガ
ニ(10), ヒメケブカガニ(2), トラノオガニ(1, 2, 3, 6, 9, 15), イワガニ

2, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 12, 13, 14), イソガニ(2, 3, 4, 5, 8, 15),
ケフサイソガニ(3, 6, 12, 13), ヒライソガニ(1, 3, 5, 9, 12, 15), アカイ
ソガニ(2, 3, 6, 7, 13), ヒメアカイソガニ(2, 3, 4, 5, 8, 15), クロベンケ
イガニ(13), アカテガニ(6, 10, 13, 14), ベンケイガニ(10)。

環形動物

ニホンコガネウロコムシ(1, 2, 3, 6, 9, 10, 12, 13, 14), ウミケムシ(2,
4, 5, 6, 9, 13), シリス sp.(1, 5, 8, 9, 12, 13), ゴカイ(1, 2, 3, 4,
5, 6, 8, 9, 12, 13, 14, 15), イソゴカイ(2, 6), スゴカイ(12), イワム
シ(2), クマノアシツキ(1, 2, 4, 7, 10, 13, 14, 15), オフェリアゴカイ(3)
フサゴカイ sp.(2, 3, 5, 8, 12), チンチロフサゴカイ(2, 6, 13, 14, 15),
ケヤリムシ(3, 4, 9, 10, 13), カンザシゴカイ sp.(1, 5, 6, 8, 12), シライトゴ
カイ(2, 9), ヒトエカンザシ(2, 10, 13), ウズマキゴカイ(2, 5, 6, 8, 9, 10)。

軟体動物

ウスヒザラガイ(1, 2, 3, 4, 10, 12, 13, 14, 15), ヤスリヒザラガイ(1,
2, 4, 6, 9, 10, 12, 14), ヒゲヒザラガイ(1), パバガセ(5, 8, 9), クサズ
リヒザラガイ(5, 6), ニシキヒザラガイ(2, 9, 13, 15), ヒザラガイ(ヂイガセ)
(2, 4, 6, 9, 10, 12, 15), ケハダヒザラガイ(2, 4, 14), オトメガサガイ
(1, 2, 4, 6, 9, 12, 13, 15), ベッコウガサガイ(5, 12), ヨメガカサガイ
(3, 4, 5, 8, 9, 10, 13), ウノアシガイ(2, 3, 4, 9, 13), アオガイ(2,
5, 8), チグサガイ(3, 12), クロズケガイ(1, 5, 8), インダタミガイ(1, 2, 3,
4, 5, 6, 8, 9, 12, 15), クボガイ(1, 2, 3, 5, 6, 8, 12), コンダカガン
ガラ(1, 3, 5, 9, 10, 13), ヒメクボガイ(1, 3, 5, 8), スガイ(4, 5, 12,
13), ウラウズガイ(3), アラレタマキビガイ(1, 2, 3, 4, 5, 8, 11, 13), タ
マキビガイ(1, 2, 3, 5, 12, 13), オオヘビガイ(1, 2, 3, 4, 5, 8, 12),
カニモリガイ(1, 2, 3, 4, 5, 6, 8, 11, 12), メダカラガイ(4), レインガイ
(1, 2, 3, 4, 5, 6, 8, 11, 12), イボニシ(2, 4, 6, 10, 12, 13), ム
ギガイ(1, 3, 9, 12, 13), マツムシガイ(13), フデガイ(5), キセワタガイ(10),
クロヘリアメフラシ(1, 2, 3, 4, 5, 6, 8, 12, 13, 14, 15), アメフラシ(2,
3, 4, 5, 6, 8, 9, 12, 13, 15), ミドリアメフラシ(3, 4, 5, 6, 8, 12),
アマクサアメフラシ(5), ヒトエガイ(2), シロウミウシ(1, 2, 3, 5, 6, 8, 9, 10,
11, 12, 13, 14, 15), アオウミウシ(1, 2, 3, 4, 6, 9, 10, 11, 12,
13, 14, 15), コモンウミウシ(1, 6, 7, 9, 13, 15), サラサウミウシ(6),
マダラウミウシ(9), ダイダイウミウシ(9, 10), ミノウミウシ(2, 3, 6, 11, 13),
エガイ(13), ヒバリガイ(3, 5, 8, 9, 12), ホトトギスガイ(2, 13), ムラサキ
ガイ(3, 12, 14), イシマテガイ(12), アサリ(日向湖, 小浜)。

紐形動物

ヒモムシSP. (1, 2, 5, 12, 13, 15), ナミヒモムシ(1, 2)。

扁形動物

ウスヒラムシ(2, 3, 4, 5, 8, 10, 11, 12, 13), ツノヒラムシ(1, 2, 3, 4, 10, 11, 12, 13)。

腔腸動物

ハネガヤ(15), シロガヤ(1, 6, 10, 12, 15), ミズクラゲ(6, 10, 12, 15), アサガオクラゲ(1, 2, 6, 15), シュモンヅクラゲ(1, 2), テツイロイソギンチャク?(5, 12), ウメボシイソギンチャク(1, 2, 6, 13, 15), ヨロイソギンチャク(1, 6, 10, 13, 15)

海綿動物

ダイダイイツカイメン(2, 10, 12), クロイソカイメン(3, 10), ナミイソカイメン(3, 12), ユズダマカイメン(2, 3, 5, 9, 10), ワタトリカイメン(5), ムラサキカイメン(1, 2, 3, 5, 8, 9, 12)。

以上、松蔭海岸での磯採集による海産動物の目録をつくってはみたが、専門的な立場ではまだ問題が山積している。例えば、筆者の観察ではこの目録以上の海産動物が採集できる可能性が充分残されている。勿論、種類数だけではなく、生態学的にも動物地理学上などから吟味すべき問題がある。たゞ、児童・生徒達の海産生物に対する知識や採集技術などでは、磯採集における動物相という点で、小中高校生の一応の目やすになると思う。欲を言えば、海産動物に対する知識及海洋学、採集技術などを小中高校生に学習させた後に磯採集を実施すればもっと種類数を増加するであろうし、意義あるものになる。したがって、これらの知識や技術方法などについて述べるべきであるが、次回にゆずりたい。

稿を閉じるに際し、酒井恒博士には心から謝意を述べたい。また、小林貞七館長を始め当博物館関係者にも併せて感謝を述べたい。

(福井県教育研究所)

〔参考書〕

- | | | |
|-------------------------|------------------|-----------------|
| 岡田要 他 (昭44): | 新日本動物図鑑(上中下) | 北隆館 |
| 蒲原稔治 (昭47): | 標準原色図鑑全集 4 魚 | 保育社 |
| 内海富士夫監修 (昭46): | 標準原色図鑑全集 16 海岸動物 | —— |
| 波部忠重 他 (昭46): | —— 3 貝 | —— |
| 内田亨 他 (昭38): | 動物系統分類学 各巻 | 中山書店 |
| —— (昭47): | 谷津・内田 動物分類名辞典 | —— |
| 椎野季雄 (昭49): | 水産無脊椎動物学 | 培風館 |
| 福井県博物同好会・福井市立郷土自然科学博物館: | 福井県博物同好会会報 各号, | |
| 伊藤十治 (昭41): | 福井県沿岸産のカニ類 | 福井県の生物 101-104 |
| —— (昭41): | 福井県沿岸における棘皮動物 | —— 113-132 |
| —— (昭48): | 福井県沿岸における海産魚類 | 研究集録 第43回全理センター |